



GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング
FUTANARI CHINPO WRESTLING 8

YOUNU VS SEIJA

18
ADULT ONLY

GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング

FUTANARI CHINPO WRESTLING 8

YOUNU VS SEIJA

アマノジャクの
格下チンポに敗ける
気分はどうだっ♡

妖夢選手イッたあゝッ♡
逆さガニ股で抵抗虚しく
チンポ射精ッ♡

んおッ♡んおおっ♡
おほおおおおおおッ♡

オラッ！イケッ♡イケッ♡
プザマ顔晒して
イキまくりやがれっ♡

イクっ♡
イクイクイクッ♡
チンポ敗けるっ♡
チンポ敗けちゃううう♡



この本は東方PROJECTの二次創作作品です、がご馳

霊夢選手と秘密の特訓に励む
魔理沙選手の貴重な映像

んおっ♡おっ♡お
れ、れいむう…♡

もおダメえええっ♡
我慢できないいッ♡
イクっ♡イクっ♡イク♡

やああビデオ…
撮っちゃダメッ♡

いってるところ
撮らにやいでえええーっ♡

チンポっ…♡
ヌルヌルこすれて…っ♡

霊夢ううう!!ビデオは
誰にも見せないって
約束だったろおお!!



いよいよ始まります
第八回幻想郷
フタナリチンポレスリング!!

今回はここ、桜舞う
白玉楼特設リングにて

鬼人正邪選手VS
魂魄妖夢選手の
試合が行われようと
しています!

実況は私、射命丸文と

解説の
姫海棠はたてで
お送り致します

そろそろ選手入場の
時間のハズですが…

な、なんだアー!?

会場で突然爆発が…っ
はたてくん
吹っ飛んだー!!

現れたあー!!

反逆のチンポレスラー
鬼人正邪だあー!!

相手をイカせる事に
一切の手段を問わない
最凶最悪のヒール!!

その悪逆ぶりは
あのデビルにとりと
双璧を成すと
言われています!

反則アイテムを無差別に
ばら撒きながらの登場に
会場はすでに阿鼻叫喚!!

ああッ!!
マジックボムのひとつが
観客席にイー!!

これは危険だアー!!
みなさん早く逃げ!

キヤアアア

来たあー！！

すごい歓声ッ！！

ゴォォォー

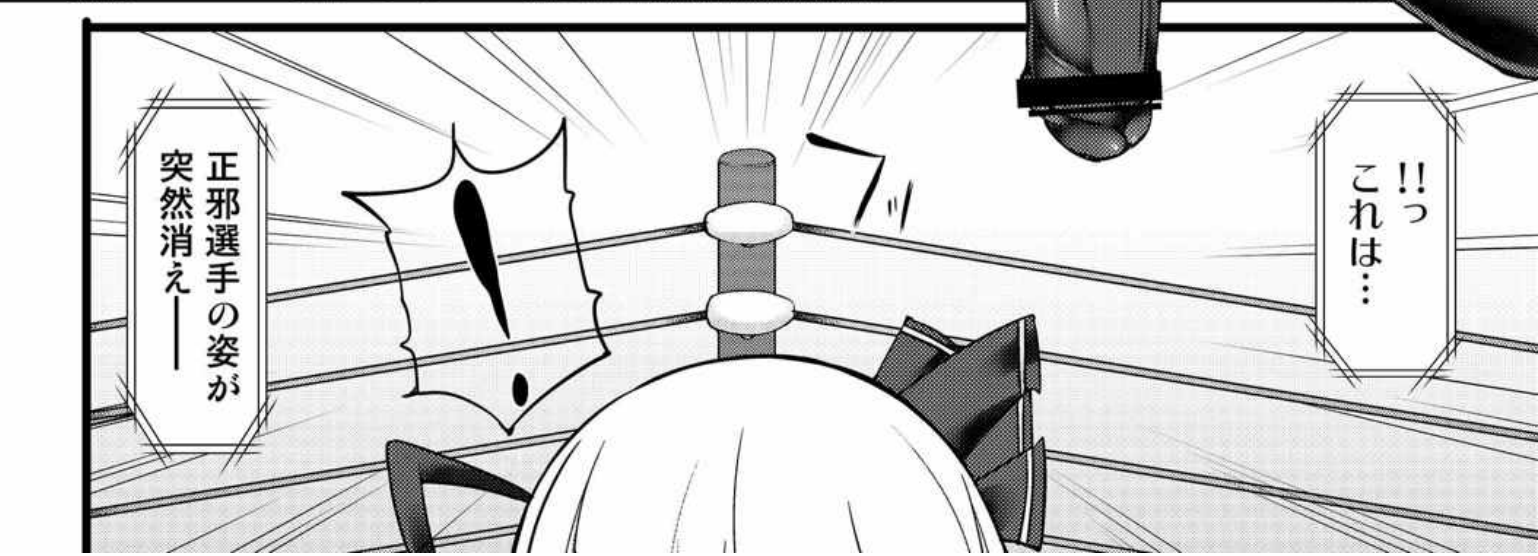
それもそのハズ！
妖夢選手はデビューから
日は浅いものの

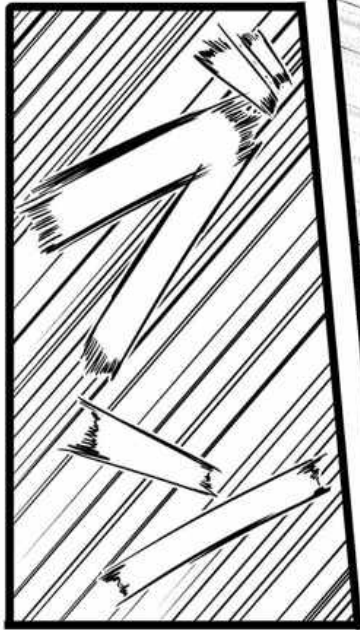
慣れない
チンポレスリングにも
常に正々堂々一生懸命！！

その健気な
ファイトについた
ファンは数知れず！！

GFCWの
クリーンファイター
魂魄妖夢選手ですッ！！







いつの間にか妖夢選手の後ろに回っているーッ!!

危なあーいッ!!



再びひらり布で姿を消す正邪選手!!
会場からはブーイングの嵐です!!

勘のいい奴!



妖夢選手、正邪選手の凶器攻撃を間一髪躲したアー!




正邪選手が設置した呪いのデコイ人形に対しひたすら説教をしているう!!
期待を裏切らない!!

鬼人正邪
まさか貴方は...


ああーっと四季映姫
レフェリー!!
予想通りだー!!




数々の反則アイテムの使用にレフェリーの注意が入りませんが一体なぜ...?




コイツで無敵状態になって
一方的に反則アイテムで
攻撃してやる！



ひらり布で
ダメなら…



なににイ…!!



なんと妖夢選手、正邪選手の
攻撃を止めたアー…!!

お、お前…何で
触れられるんだ…!?

亡霊の送り提灯は
幽霊になることが
できるアイテム…

普通の人間では
触れることは
叶わないでしょう…

ですが
私も(半分は)幽霊…!!
扱けぬ竿など…

あんまりない!!

出たー! 妖夢選手の
なんかキメ台詞的な
アレだーっ!!

くそっ…油断した…
まさかこの私が主導権(チンポ)
を握られるなんて…ツ

チンポ…

チンポ…

チンポ…



妖夢選手の
逆手コキがでたッ!!

さあっ
攻守交代ですよ!!

決して派手な必殺技を
持たない彼女ですが
正統派故に侮れません!

シンプルにしてディーブ!!
この手コキで射精まで
導かれた選手は数知れず!!



正邪選手の顔も
快楽に歪んでいるーっ

更に加速する
妖夢選手の
手コキッ!!

チンポを引ッ張るように
激しく、丁寧に
コキ抜きますッ♡

ま、マズイ…
このままじゃ
イカされ…っ♡

はあっ
はあっ♡

ここで妖夢選手
乳首にも手を伸ばし…

ロでイッたあッ!!

妖夢選手、手コキと
同時に乳首責めだッ

おおーっと！ここで
正邪選手絶頂ーッ♡
さっきまでの威勢は
どうしたーッ！！

大股開きで情けなく
精子を飛ばしながら
仰け反り絶頂だあーッ♡

まぢぢぢ...

こうなったら...

西行寺幽々子



なっ…気安く
その名前を
呼ばないでくださいっ!!

そう。お前の大切な
主人だよなあ…
そのお嬢様をさ…

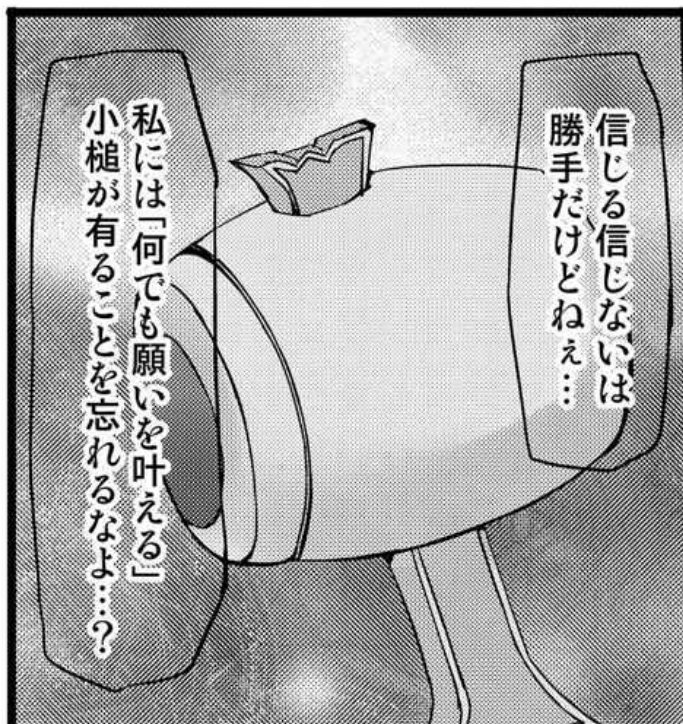


うそだツ!!
幽々子様が天邪鬼に
遅れを取るはずが…っ



私が預かってる…って
言ったらどおする…?

ツ!!



信じる信じないは
勝手だけどねえ…

私には「何でも願いを叶える」
小槌が有ることを忘れるなよ…??

なあんてな…勿論
こいつはハツタリさ…

リングの上から
私の合図一つで…

ドピュツ!!だぜ…?

いくら小槌でも
あの亡霊をそう簡単に
捕えたりできるもんか

効果てきめんツ!!



なあに、私の言うことを
聞くなら…試合が終われば
解放してやるさ

ククク…真面目な
甘ちゃん騙(コカ)すの
なんざ超簡単…♡



私が言うことを聞けば…
幽々子様には手を
出さないんですね…?

ああ勿論…

約束するよオ…!!





そうだな…先ずはおっぱいを晒してもらおうか

逆らったら…わかるよな？



お前、まだデビューしたてなんだって…？

それじゃあみんなに名前を覚えて貰わないとなあ…



ああーっと妖夢選手どうしたのか!?

突如コスチュームをズラして胸を露出させましたっ!!



観客に向かってチンポで自分の名前書いてアピールしな♡

ツ…!!
そんなコト出来るわけ…っ

おおーつと
いいのかなあ
ゆ・ゆ・こ・さ・ま♡

わ、わかり…
ました…

チンポがよーく
見えるように
腰突き出して
脚をもっと開くんだよ
手は頭の後ろだぞ？
宣言も忘れるなよ

み、みなさんつ…
い、今から…私…
魂魄妖夢が…

おーつと妖夢選手
一体どうしたのかーッ!!
先ほど正邪選手に
何事か囁かれた後から
何か様子がへんですッ

チンポ文字で
名前を描くので…
よく見て…くださいっ





オラッ！
さっさとしなっ！！

は、はっ...



ああっ...そ、そんな...
見ないで下さい...っ

どよ...
どよ...
どよ...

どよ...
どよ...



む...と



う



よ



これでみんなもう
名前を覚えたな♡

あーっはっは
いいぞいいぞ♡



やるかどうかは
自由だぜえ…
勿論、無理強いは
しないけどな

半霊…
ごめんね…



じゃあ次は…
そうだな

半霊をオナホに
してオナニー
してみる♡



んお…♡

うほおお♡



打ち出の小槌で
キンタマを
プレゼントだっ♡

んほおお♡



ははっいいぞ♡

頑張った
ご褒美に…

あああああ♡
ダメっ♡だめだめ
だめええ♡

キンタマが
急ピッチでせーえき
作ってるううッ♡

おおおーッ♡
くるっ♡くるうっ♡

いぐっ♡イグイグ
イグイグうううう
うううーっ♡

ザーメンがキンタマ
昇ってきちやううううっ♡
んほっ♡んほっ♡おっ♡
おほおほおーッ♡

妖夢選手イッたあーっ!!
突如半霊にチンポを突っ込んだと
思いきやキンタマフル稼働の
出来立てザーメン発射だーッ♡

ほっ♡
おほおほ♡
おほおほ♡
おほおほ♡

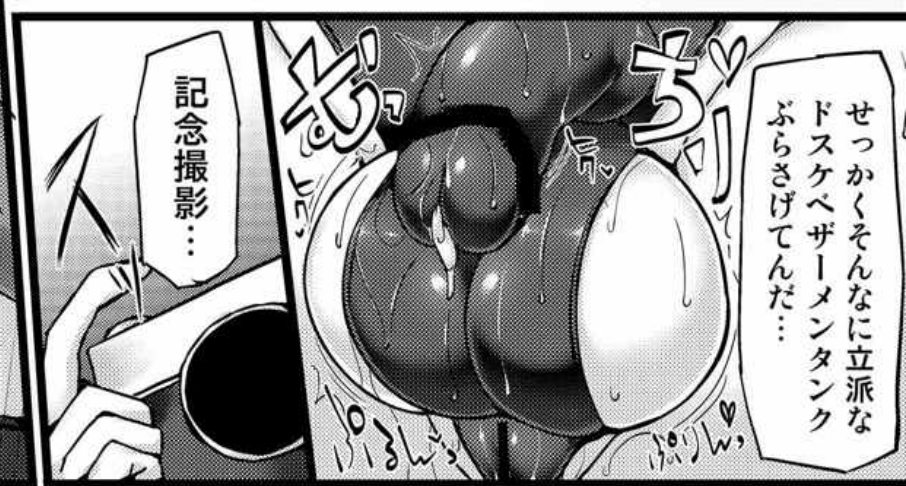


んおおおおおおッ♡

して
やるよっ♡



めいお...



記念撮影...

せっかくそんなに立派な
ドスケベザーメンタンク
ぶらさげてんだ...



こいつでお前の
チンポを...

オモチャだけど、
弾幕を消せるくらいの
威力はあるんだぜ？



なっ...なにっ...
なん...でっ♡

倒れたら
ペナルティだからな

おっ♡
おほっ♡

振りまくって
やるよっ!!

んああッ♡

しっかり腰落として
踏ん張れよ♡

おほおほおほおほっ♡
ダメっ♡これダメ
ですうううッ♡

撮っちゃダメええッ♡
チンポ刺激強すぎッ♡
キンタマ快樂すぎすぎいつ♡

こんなの
耐えられる
ワケないッ♡
撮られる度に
イクっ♡

シャツターの
衝撃でチンポ連続
イクするううう♡

カニヤアッ



ここで妖夢選手
ついにダウン!!

しかし審判は
未だデコイに
夢中でカウントが
入りませんッ!!



はいざねえん…
倒れちゃったねえ…♡

それじゃあ
早速…



罰として私の
チンポをケツ穴に…



挿入ッ♡

んあああッ♡



正邪選手、ダウン中の
妖夢選手に容赦無い追撃ッ!!
チンポを強制再ポッキッ♡

んあああっ♡
や、やめっ…♡

チンポに響…ッ♡

くふううううううう♡
タマ揉みらめえええっ♡

そ、そこは…
んおッ♡そっちの穴は…
んおおおッ♡



オラっイケっ♡
イキやがれッ♡

んおっ♡
おうっ♡

おおおおッ♡

おっ♡おっ♡

観客にアへ顔晒して
クソザコチンポが無様に
ケツマンアクメする
ところ見せるオラアッ♡

妖夢選手大ピーンチ!!
正邪選手の
あまのじやくチンポに
手も足も出ませんッ!!

観客の応援にも
熱が入りますッ!! 果たして
妖夢選手は正邪選手の
ケツマンチンポ固めから
抜け出せるのかーッ!!



おほおおおおおおおーっ♡
おおっ♡イクっ♡イク♡
イクイクイク♡んおおお
イグううううううーっ♡

ごっごめんなさいっ♡
ごめんなさいいっ♡
ケツマンコ掘られてチンポ
いっっちゃいますうっうう♡

ああーっここぞで
射精だあーっ!!敗北必至の
アへ顔トコロテン射精っ♡

お茶の間と観客に向かって
絶頂イキチンポ晒しっ♡
すごい量と勢いですっ♡
レンズに精液が
かかっていますっ!!

ここでゴングが
鳴ったアー!!
勝負ありっ!!

まさかの展開ッ!!
大どんでん返し!!
まさに下克上ッ!!

妖夢選手チンポとケツ穴
から精液を噴射しながら
大股完全アクメ敗北ーっ

予想外の
結果に会場は
騒然!

正邪選手の下克上は
いつまで続くのかっ

次の試合を
お楽しみにっ!!

正邪は次の試合で
霊夢にボコボコに
されました



あとがき

皆さん、こんにちわ！如何お過ごしでしょうか？翡翠石です。
私は今回の合同誌の編集作業と、個人誌の原稿作業中に首と肩をやって
しまして、痛み止めと一緒に原稿と戦う日々を送っておりました…。

そんな中、個人誌も合同誌も無事発刊でき、本当によかったです！

特に合同誌のほうは、なんと総勢52名もの作家さんに参加して頂き、ページ数も
全部で276ページという気合の入った超大作となっておりますので、是非是非
皆さん一緒にお手にとって頂けると嬉しいです…！

今回は個人誌、合同誌の他にもいろいろなグッズや会場限定本を作ってみたり、
設営をこってみようとしたり、普段と違う試みをたくさんしてみました。こ
れを書いている時点でイベントでどうなるかはわかりませんが、
大変ドキドキしております。

そんなこんなで幻想郷フタナリチンポレスリングも回を重ねて遂に8巻です！
初めての方も、いつも読んで頂いている方も、手にとって頂きありがとうございます！

今回は正反対な性格とファイトスタイルの妖夢と正邪にチンポレスリングをして
もらいました。

妖夢ちゃんが敗けるなんて…！許せん！という方もいらっしゃるかもしれませんが、
正々堂々真面目な妖夢ちゃんが正邪の手段を選ばない卑怯な手でそりゃもう
メチャクチャにやられちゃう所が見たかった（描きたかった）んです…!!

その甲斐あってかいろいろな反則アイテムでイカされちゃう妖夢ちゃんのアヘイキ
っぷりをたくさんかけて大満足です…！

今までの明るくおバカな雰囲気とはほんの少しだけ違った雰囲気になったかな？
と思いますが如何でしたでしょうか？
よければご感想など聞かせて頂けると嬉しいです。

今回もアナザーは趣味全開！清楚な妖夢が、悪堕ちというか、黒ギャルビッチふうにな
っちゃうのもエロくて可愛いんじゃないか…？という完全自分需要の内容となっ
ております…！アナザーの後もゲストに素敵なSSを頂いておりますので、
どうか併せて最後までお楽しみ頂ければ幸いです。

これからも勿論描きたいキャラとネタある限り、シリーズ続けていきたいと
思っておりますので、是非今度ともよろしくお願ひします！
それではまた、夏にお会いしましょう！

GENSOUKYO FUTANARI CHINO WRESTLING IF... ANOTHER STORY

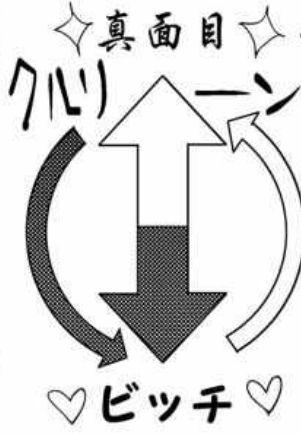
けっちやあーくっ！
妖夢選手敗北…っ
勝ったのは
正邪選手うー！！



一体何が起った
のでしょウツ!!

先程までとは
明らかに雰囲気
違いますっ

私の能力で妖夢の
性格を反転させたツ!!



な、なんですってー!



エロい
おっぱい...

エロい

エロい
おっぱい...

エロい

ももち

ももち

おっぱい

おっぱい



副作用だ
気にするな!

服装や肌が
違うのは:



今や清纯努力派の
妖夢は消え去った!

ここにいるのはチンポ
大好きドスケベふたなり
黒ギャルビッチ妖夢だ!

おっぱい

おっぱい



うああ♡

問答無用のひよっとこ
フェエラだー♡



ああっ！妖夢選手が
観客席から男性を数人
リング上にあげ：



ハア
ハア…♡

よ、妖夢ちゃん
エロすぎ…♡

チンポを離すまいと必死
にバキュームする姿は
まさに淫乱ビッチだー！！

清楚妖夢は一体どこへ
いつてしまったのかッ！！



あっ…♡
あ…♡

妖夢選手ドスケベ顔で
鼻息荒くチンポに
むしゃぶりつくう♡



このド下品フェイスが
あの妖夢選手とは
未だ信じられません♡！！

おお♡



ウフフ…
チンポびっくん
びっくんさせて…
もうイキそう
なんですか？

はちゅ♡

アツアツガチガチの
チンポとっても
美味しかったです…♡

どうぞ…♡私の
ケツ穴でもマンコでも…
好きな場所
使ってイイんですよ…♡



ハアハア…

あんツ♡

妖夢ちゃんツ

ピツチな
妖夢ちゃんも
可愛いっ♡



んはあああああっ♡
チンポきたあっ♡



あんっ♡あんっ♡
ほらほらあっ♡

どうしたんですかっ？
もっといっぱいチンポ
がんばってっ♡

妖夢選手、自ら腰と
チンポを振り射精を
誘っていくうっ♡

うおおっ
よ、妖夢ちゃん…そんな
エロい動きでチンポ
搾られたら…♡



マンコと
ケツ穴にチンポ 妖夢の
突っ込まれて… フタナリピッチチンポも
ザーメンきちやうっ♡

くるっ♡
くるうっ♡



んおおおお♡



お、俺もっ
妖夢ちゃんっ…



ケツ穴きたあ♡

んほおおおおっ♡
ケツうううっ♡

んほおおおおおおっ♡
キタっ♡きたあああっ♡
妖夢のエロビッチチンポ♡
ザーメン昇ってきたあっ♡

マンコとクソ穴使われて
特濃ザーメン♡コンドームに
ドプロプ排泄ッ♡

ゴム撃ちトコロテンチンポ
気持ち良すぎいいいい♡



妖夢選手
イっただあーっ♡

おほっ♡おほおお♡
イグううううッ♡♡

ザーメンでコンドームを
ぷっくり膨らませて
アへ顔ダブピアクメッ♡

みんなのザーメン♡
もっ♡妖夢のビッチチンポに
直射してえっ♡





奥付

発行サークル:Stapspats

執筆:翡翠石 (ヒスイ)

誌名:幻想郷つたナリチンポレスリング8

妖夢VS正邪

発行日:2016/05/08

印刷所:ねこのしっぽ

PixivID:1473639

TwitterID:hisui_spats

E-mail:spatz@hotmail.co.jp

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。

無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。

妖夢 試合中の幽々子様
屋台で食べ歩きを撮りました。



これはGFCWエキシビジョンより少し後の——ありえたかもしれない、ifのお話。

灯籠ゲスト…騙され妖夢ちゃんのおチンポトレーニング

ここは、とある非公式ジム。

浮かれた足取りの男が、扉を開く。

「妖夢ちゃん♥」

中にいたのは、魂魄妖夢。

きわどいコスチュームを着て、待機していた。

「こんにちは、トレーナーさん」

妖夢は礼儀正しくお辞儀をする。強くなりたい一心で入会したため、ジムでの出来事は全て正しい事だと頭から信じ込んでいるのだ。

そんな訳で、どんなに恥ずかしいトレーニングでも、真面目な彼女は積極的に参加している。

そして、本日のメニューは……

「最新式のチントレマシンを導入してみたんだ」

チントレとは、チンポトレーニングの事である。

「マシンですか？」

「隣の部屋に設置してあるから、見に行こうか」

「はい」

部屋の中央に鎮座するそのマシンは、台の上に膝上くらいまでのポールが四本立っているという、他に見えないものだった。

ポールの位置関係は——横並びに三本、真ん中から少しずれて一本。凸の字型に配置されている。

左右のポールよりも真ん中のポールは長く、ずれた一本は短かった。

これを、どう使うのだろう。

妖夢がいろいろと考えていると、男が説明を始めた。

「チンポスクワットマシンだよ」

「チンポスクワット……？」

「基本的にはスクワットと変わらないよ。キツイチントレだけど、妖夢ちゃんならきつとラクショーさ。やってみるかい？」

「……わかりました、やってみます」

「まずここに立って。体重がここに乘っていないと、無効になっちゃうからね」

「次に、腰を低い位置まで落として。この横にあるボタンを、膝を使って押すんだ」

左右のポールには、膝を当てるクッションが設置されていた。それがボタンというらしい。

脚を開き、膝を当てる妖夢。

「こうですか？」

「そうそう」

「あ、あの……すごいガニ股になっちゃって恥ずか——」

「結構脚を開かないと、押せないんだよね。でも、これはトレーニングだから」

「あ……は、はい……」

「次に、これを使う」

男が取り出したのは、握り拳大のアタッチメントだった。

短いポール——妖夢の股間の真下にそれを取り付ける。

「これはお股のボタンだよ。膝とセットで押し込んで、下に一回カウントされる」

「下に、一回？」

「スクワットは膝を曲げて体を上下させる運動だろう？ だから上と下で

一回ずつカウントして、初めて一回なんだ」

「なるほど」

納得した妖夢だったが、しかし、股でボタンを押さなければならぬというのはどうだろう。

不安を感じる妖夢を他所に、男は続ける。

「上のボタンは、コレ。妖夢ちゃんのチンポを使って、押し上げるんだ」

男の手には、半透明のチューブが握られている。

オナホールだった。

長いポールの、鉤状に曲がった頂点に、穴が斜め下——妖夢のチンポを向く形で取り付ける。

「そ、それを……ですか？」

「そう。膝を伸ばさなきゃトレーニングにならないけど、完全に伸ばしてしまってもダメ。それを解消してくれるのがこのオナホールなんだよ」

「な、なるほど……」

男の言う事が正しいのは何となく解るのだが、どうにも恥ずかしくなってしまう妖夢。

どう考えても、スクワットの形をしたオナホールだからだ。

「奥まで突けば上に一カウントだ。やり方は解ったかな？」

「は……はい……」

しかし、これで強くなるのであれば、やるしかない。

（そ、そうだ。これはチンポ体力を鍛えるトレーニングなんだ……簡単にイカないようにするための……）

男のやり方にすっかり教育されていた妖夢は、自分に言い聞かせつつ気合を入れる。

「が、がんばります……！」

「よし、じゃあオナホにチンポを入れる前に……みなさん！ 準備が整いましたよーっ！」

「えっ？」

男が大声を上げると、扉を開けて数人の男がどやどやと入ってきた。

皆一様にニヤニヤとした笑みを浮かべており、その異様な雰囲気は妖夢は困惑する。

「え……ちよ、なんで……？」

「へへへ、よろしくお願ひします〜♥」

「妖夢ちゃん、よろしくね〜♥」

「(ト、トレーナー。どうということなんですか……?)」

「今日はトレーニング見学にお越し頂きありがとうございます。さっそく、模範生の魂魄妖夢ちゃんに、チンポスクワットの様子を披露してもらいましょう！」

慌てる妖夢に、男は耳打ちする。

「(……と、いうワケなんだ。しつかり頼むよ妖夢ちゃん♥)」

（そ、そんな……）

妖夢にとつてはアクシデントでありハプニングだったが、見学では仕方がない。真面目にトレーニングを開始する。

「で、では、チンポをオナホールにセットします……！」

ずぶぶぶぶ……。

「ふう、っ♥ くら♥」

ぬるぬるのローションに誘われ、肉の竿はすんなりとシリコン穴に呑み込まれていく。

挿入に慣れていない妖夢のウブな肉棒は、全方位から来る圧迫感にビクビクと反応を示した。

（オ、オナホールって……っ♥ こんなに、気持ちイイの……？ このままじゃ……すぐにイッちゃいそう……っ）

喉の奥から溢れそうになる喘ぎ声を必死に呑み込むと、口を結び、目を閉じて挿入を続ける妖夢。

ずぶぶぶぶぶ……。

「ふうう……っ♥♥ くら♥ ふうう……っ♥」



ヒダやイボが無作為に取り付けられた内部は、ツブツブプリプリと先端に刺激を与える。

バキバキに勃起した亀頭から電流のように走り抜ける快感に、妖夢は思わず声を漏らしてしまった。

「く、んほっ♥」

「おっ、どうしたのかな妖夢ちゃん♥」

「まだ半分だよっ♥」

「え、ま、まだ……っ♥」

目を開けて見れば、確かにまだ半分しか入っていない。

(が、がんばらなくちゃ……快樂を耐えながら……奥を突かないと……)ぬぷぷ……。

奥は狭くて締め付けもキツく、ヒダヒダが幾重にも重なって密集していた。それを肉棒で割り開いていく妖夢。

最奥に到達した時、それは起こった。

無数のイボが亀頭をぐりぐりと押し潰したのだ。

「ンっ♥」

腰骨を痺れさせるような強烈な刺激に、思わず腰を引いてしまった妖夢。

シリコンのヒダがカリ首をグジュグジュと磨き、さらに追い討ちを掛ける。

「おっ♥ おほ♥」

押しも引いても亀頭に凄まじい刺激が加わってしまう。

それに気付いた妖夢は、中腰のまま動きを止めてしまった。

「妖夢ちゃん、オナホを押し込まないとカウントされないぞ♥」

「がんばれえ♥」

「はあっ、はあっ♥ はいい……っ♥」

見学者の声援を受け、己を奮い立たせる妖夢。

再び狭い穴を肉棒で突き進んで行く。

プリユプリユとヒダに引つ搔かれながら再び到達したのは、亀頭の先端にウニウニと吸い付くようなシリコンのイボ。

これを、自分で押し込まなければならぬ。

「う、うう、っ♥ くふ……うう♥」

力を籠めれば、亀頭が圧迫されて神経がひしゃげ、肉棒全体が快樂の悲鳴を上げる。

気を抜けばイッてしまいそうなほどだ。

グチュウウウ……。

「あっ♥ あっ♥ あああ♥♥」

ピツ、と機械音が響く。やっこのことで、上に押し込めたのだ。

「よし妖夢ちゃん、次は下だ」

「し、下……」

そう言えば、押し込んで終わりではなかった。

今度は引き抜いて、下のボタンを押さなければならぬのだ。

「ふう……っ♥ くうう……っ♥」

ツブツブがカリ首の裏をなぞり上げていく。

次は同時に膝のボタンを押さなければ——妖夢は脚を外側に開き、不格

好なガニ股になる。

そして、三つのボタンにほぼ同時に触れる。

ブブブ!

「ああっ♥♥ い、いやあ……っ♥ なに……?」

股間に感じた振動に、妖夢は身を強張らせた。

「振動マッサージヘッドだよ。それをお股でぎゅうっと下に押し込んで。

そしたら一回だから」

一瞬触れただけで、膣の奥から熱い蜜がトロリと零れるのを妖夢は感じていた。

無機質で無慈悲な性感マッサージ。強く押し付けられれば、その分振動も強まる。しかし、スクワットのカウンタのためにやるしかなかった。

ムムムムムッ!

思い切り押し付ける。機械的な振動は肉を伝って、体の芯の快楽神経をピンピンと揺さぶった。

「んんん〜っっ♥♥♥ チッ♥♥♥ チンポにひびくうっ♥♥♥」

「頑張れっ♥♥♥ ガニ股キープでマッサージヘッドに体重を乗せてっ♥♥♥」

「ふおおおお〜っっ♥♥♥」

——ピッ。

救いの電子音が響く。震える膝を踏ん張って腰を浮かす妖夢。

しかしそれは、立ち上がる行為——すなわち、オナホールに挿入する行為に他ならない。

「ほほおお♥♥♥」

気合で腰を止める妖夢だったが——。

「よしよくやった妖夢ちゃん♥♥♥ これを百回行えばトレーニング成功だよ♥♥♥」

「ひゃ……ひゃっか、いい……っ?♥♥♥」

出来るわけがない、と妖夢は思う。

「強くなりたいんだよね妖夢ちゃん? 今を輝くトップレスラーはみんな百回くらい朝飯前だよ?」

「も、もうっ♥♥♥ だ、だめ、ですう……っ♥♥♥ これ、以上……動かせ、ませんんっ♥♥♥」

「ええ〜っ? まだ一回だよ」

「もう終わり? もっと頑張ろうよ妖夢ちゃん」

口々に好き勝手なことを言う見学者たち。

不満げな彼らを見て、トレーナーを名乗る男は溜め息を吐いた。

「仕方ないな、妖夢ちゃん。今回だけだぞお」

「はあっ♥♥♥ はい……っ♥♥♥」

ギブアップとは我ながら情け無いが、これ以上動かせば本当にイッてしまいそうなのだ。

しかし、許しが出た——あとはオナホールから抜く時の刺激だけ耐え切れればいいという状況は、だいたい気が楽だった。

ブブブブブッ!

「んにゃああっ!?♥♥♥」

許しが出たというのは、妖夢の勘違いだった。

男は止めていいと言ったのではなく、手伝ってやろうと言ったのだ——そして振動ヘッドをリモート操作し、せり上げたのだった。

安心し、油断した妖夢の肉体に響く振動は、妖夢の腰を跳ね上げさせるには充分に強力なものだった。

「ずぶぶぶぶうう!」

「んのおおおっ♥♥♥」

振動マッサージに後押しされて一気に最奥まで押し込まれた妖夢の肉棒。亀頭にめり込まんばかりのシリコンイボ。

強烈な圧迫を受け、もみくちゃにされた快楽神経が、限界を訴えるようにビクビクと痙攣する。

「や……やだあっ♥♥♥ イツぢやううっ♥♥♥」

ぐつと腰を突き出し、全身を思い切り硬直させる妖夢。

程なくして、透明なオナホールが白く染め上げられていく。

ブリュッ! ぶびゅるる! びゅぐぐぐるんっ!

「ほおっ♥♥♥ おおお♥♥♥ イッて……イッてるうう……っ♥♥♥」

どくんっ! ……どくんっ! どくう……っ。

泡立った濁液が漏れ出し、トロリと白糸を引きながら落ちていく。

腰を突き出し、オナホールに根元まで咥え込ませたまま、ヒクヒクと肉棒を戦慄させる妖夢。



「おっ ♥ おっ ♥ ♥ ほお ♥ ♥」

「妖夢ちゃん、たったの一回でイツちゃうなんて、激ヨワチンポだなあ」

「目標まであと九十九回 ♥ 気合だ妖夢ちゃんっ ♥」

「しょ、しょんにゃ……ひおおおっ ♥ ♥ ♥」

絶頂後——絶望感と共に脱力した妖夢は、ビクンと身を震わせた。

上半身の体重を、振動マッサージヘッドに思い切り乗せてしまったのだ。

ムブブブブブ！

股間を貫く圧倒的快感に、思わず逃げるように腰を突き出してしまった。

「んはあああっ ♥ ♥ ♥」

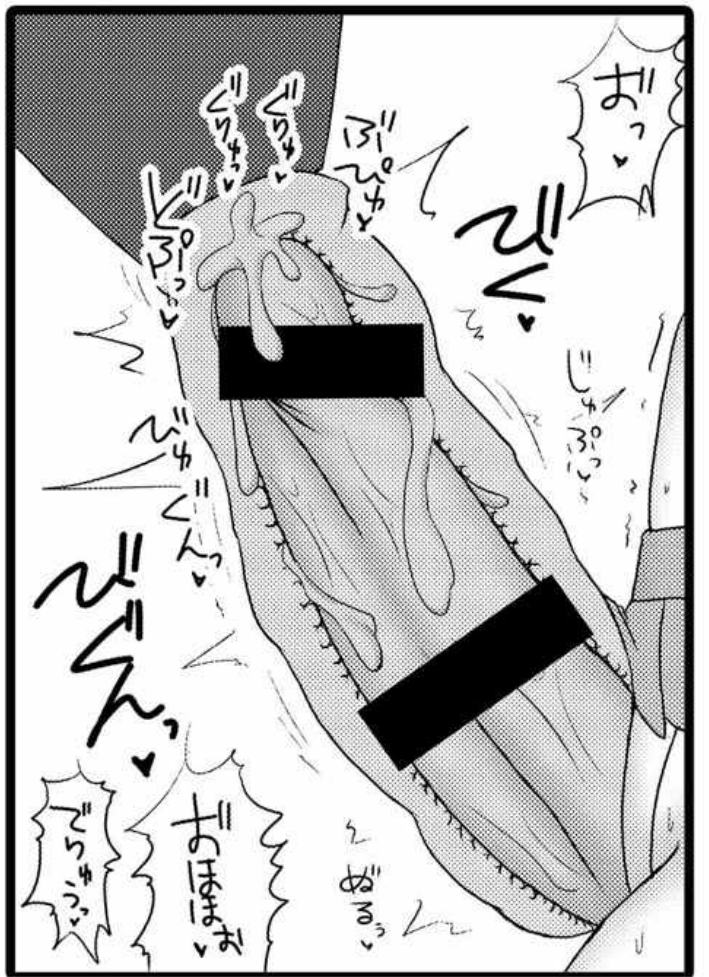
ずぶぶぶぶぶぶっ！

いきおい、オナホールを高速で突き上げてしまふ。

ிட்ட直後の敏感な亀頭が、それを耐えられるはずもなかった。

「んほ ♥ お……っ、ぐ、くうふっ ♥ ♥ ♥」

続けざまに二発目を発射する妖夢。



びゅぐ！ びゅぐ！ びゅくんっ！

そうして脱力する妖夢を待っているのは、振動責め。

「んほおっ ♥ ♥ ♥ らつらめえっ ♥ ♥ ♥ にっ ♥ ♥ にげらりえないっ ♥ ♥ ♥

かってにスクワットしひやううう ♥ ♥ ♥」

そう簡単に逃げられる構造ではなかった。ிட்ட衝撃で跳ね上がった腰

が、次のスクワットを勝手に始めてしまふ。

ぐぼちゅっ！ じゅぐぼっ！

——ピッ。ピッ。ピッ。ピッ。

「んによほほおおお……っ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ らめらめええっ ♥ ♥ ♥ スクワッ

トオナニーでげきよわチンポしやせーしちやううっ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ イキチンポ

イツちゃうのほほおお……っ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥」

びゅっ！ びゅるるっ！ ぶびゅびゅびゅびゅっ！

まんまと連続アクメにハマってしまった妖夢。果たして、こんなことで

チンポが鍛えられる日は来るのだろうか……。

おしまい ♥

正邪選手怒涛の
反則アイテム攻撃に
妖夢選手ついに陥落〜!!

こんな近くで試合
観るの初めて…

正邪選手、妖夢選手を
得意の逆さ大股開きの体勢に
持ち込み…

出たああ!!
正邪選手の下克上技
「リバースチンポ合わせ」!!

イケばイクほど強くなる
アマノジャクチンポに
いつまで抵抗することが
出来るでしょうかッ!?

すごい迫力…

うわああ…
激し…

